
IS インフニットストラトス~~~~白と黒の翼を持つもの~~~~

林神録

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS インフニットストラトス~~~~~白と黒の翼を持つもの~~~~~

【Nコード】

N2207BA

【作者名】

林神録

【あらすじ】

小さい頃から研究施設で実験台にされていた少年が自分の運命を切り開いていくお話です。

プロロゲ

僕は今逃げている。何から逃げているかと、

『逃がすな！！被験者E60に此処の事を喋られたら面倒なことになる。』

最悪撃ち殺してもいい。

なんとしてでも捕まえろ！！』

「「「了解。」」」

武装した施設の人が追ってきた。

「めんどくせえから撃ちごろすわ。良い？」

そう言った人が持っていた銃で撃ってきた。

「うつ！」

撃った弾の一つが肩に当たった。

撃たれた瞬間頭が真っ白になった。

気づいたら知らない海辺着ていた。

「ここは何所だろう？」

辺りを見ても何も無い。

僕はどうやって此処まで逃げてきたんだろう？

そんなことを考えていたら後ろから声が聞こえた。

「キミ面白そうだね。キミに興味が湧いてきた。
私のところに来ない？」

・・・ウサ耳を付けた人が話しかけてきた。

「帰る場所もないのでよろしくお願いします。」

迷いながらもそう答える。

「じゃあレッゴー！」

ウサ耳の人と一緒に歩いて数分で家に着いた。

「ところでキミの名前は何？」

家に入るなりウサ耳の人が聞いてきた。

「僕に名前なんてありません。」

有るのは被験者E60の数字しかありません。」

「・・・じゃあ私の養子兼助手にならない？」

「なぜですか？」

「キミ興味があるのとキミにはその才能があると思ってね。」

「・・・・・・・・・・・・・・・・分りました。その話受けます。」

「良かった。」

まずは名前を決めないとね。・・・・・・・・・・薫。篠之乃薫。
うん！薫が良い。」

「薫。僕の名前は薫。ありがとうございます。」

えーとあなたは、」

「私は篠之乃束さんだよ。これからはお母さんって呼んでね。」

「は、はい。」

お、お母さん？」

「うっっん良いね！

薫ちゃん今日は遅いからもう寝なさい。」

「はい。おやすみなさい。」

「うん。おやすみ。」

こうして天災と不幸な運命を背負った少年が出会った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2207ba/>

IS インフニットストラトス~~~~白と黒の翼を持つもの~~~~

2012年1月5日17時52分発行